

中小企業向け注目の補助金制度をチェック！

●中小企業省力化投資補助金が登場！

◆人手不足解消のための設備導入を補助

人手不足問題を抱える中小企業がロボットや自動化機器を導入して生産性を向上し、賃上げにつなげることを目的とする新しい補助金です。

◆大幅な賃上げで補助額を1.5倍

補助金申請前より、3年間で①最低賃金45円以上増加し、かつ②給与総額で6%増加させる事業計画で補助金を申請すると、補助金上限は通常の1.5倍に増え、最大1,500万円（右表）に。

ただし、賃上げ未達成なら補助金は減額に…。

◆省力化機器のメーカーや取扱い事業者にもフォロー

省力化投資補助金は、加付掲載の機械等を選んで販売業者と一緒に申請する仕組み。

省力化機器のメーカーや販売事業者にとっては、加付登録することで販促につながる余地が。

◆公募は今後複数回の予定

公募時期はまだ公表されていませんが、2026年9月まで何回か公募されることが決まっています。

中小企業省力化投資補助金の上限額

従業員数	補助率	補助上限額	大幅な賃上げの場合
5人以下	1/2	200万円	300万円
6-20人以下		500万円	750万円
21人超		1,000万円	1,500万円

業種ごとの導入製品例

業種	宿泊	飲食	卸売	小売	製造	倉庫
カテゴリー						
清掃ロボット、配膳ロボット	●	●				
自動倉庫、検品仕分システム、無人搬送車			●	●	●	●
券売機		●				
自動チェックイン機	●					
自動精算機		●		●		

●4大補助金のまとめ

	ものづくり・商業・サービス補助金	小規模事業者持続化補助金	IT導入補助金	事業再構築補助金
内容	<ul style="list-style-type: none"> 省力化枠： 人手不足解消のための設備導入など 製品サービス高付加価値枠 革新的製品・サービスの開発に必要な設備投資 グローバル枠： 海外事業を実施し、国内の生産性を高める設備投資等 	<ul style="list-style-type: none"> 小規模事業者が経営計画を策定して取り組む販路開拓を支援 イノベーション発行事業者へ転換する免税事業者向けに50万円上乗枠 ほかに、賃金引上枠 従業員数を増やす小規模事業者卒業枠も 	<ul style="list-style-type: none"> 業務効率化やDX推進、セキュリティ対策のためのIT導入費用を支援 イノベーション制度対応促進のための会計ツール、クラウドなども対象 	<ul style="list-style-type: none"> 新市場進出、事業・業種転換、事業再編などへ取り組む際の設備投資、外注費、広告宣伝費等を支援 コロナ期の債務の借り換えを行っている事業者、事業再生中の事業者など
対象者	中小企業／小規模事業者	小規模事業者のみ【注】	大企業、中小企業 小規模事業者	中堅企業、中小企業 小規模事業者
補助金補助率	750万円～1億円 (補助率：1/2～2/3) 上乗せ措置： 事業終了後3～5年で大幅賃上げに取り組むと補助上限額に100万円～2,000万円を上乗せ	50～200万円 (補助率：2/3) 対象： 機械装置費、広告掲載、展示会出展費用、新商品開発費、委託・外注費など	通常枠：5～450万円 (補助率：1/2) イノベーション枠：～350万円 (同：3/4～2/3) PCタブレット：～10万円 券売機：～20万円 (同：1/2) セキュリティ対策推進枠：5～100万円 (同：1/2)	成長分野進出枠(通常類型)： 100～6,000万円 (補助率：1/3～1/2) コロナ回復加速枠(通常枠)： 100～3,000万円 (補助率：1/2～2/3) ※大規模賃上げでの上乗せ措置あり
公募期間	前回は3月27日に締切 次回公募予定は未発表	前回は5月27日に締切 次回公募予定は未発表	公募中 7月19日まで	公募中 7月26日まで

【注】小規模事業者：商業・サービス業（宿泊業/娯楽業除く）は従業員5人以下、それ以外の業種は同20人以下。